

簡易機能診断システムを活用した 農業用水利施設の点検診断

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

1 部門名

農業土木—農業土木—その他

2 担当者

穂積彰・今野俊

3 要旨

農業用水利施設に対し、農研機構農村工学研究部門で開発している簡易機能診断システム(以下、NN診断)を使って、施設管理者等が、自ら点検、施設の劣化や健全度を判定し、結果を蓄積し施設の状況の経過を確認できる。

- (1) NN診断では、PCで作動する地理情報システム(以下、VIMS)で水利施設情報を入力し、その情報をNN診断アプリを利用して携帯端末 iPad へ転送し、現場で点検、診断結果を記録する。その後、点検記録データを PC で取込み VIMS サーバーに蓄積し、施設の劣化や健全度の評価を行う。
- (2) NN 診断のデータは、福島県土地改良事業団体連合会で管理されている水土里情報システムへデータを移行し、活用することが可能である。
- (3) 本システム活用により、市町村担当者や農家の方々自らが農業用水利施設の状況を把握し、今後の施設の保全計画の作成等に活用できる。
- (4) 本システム活用に当たり、利用者はPC等の機器操作にある程度熟知していることが重要となる。

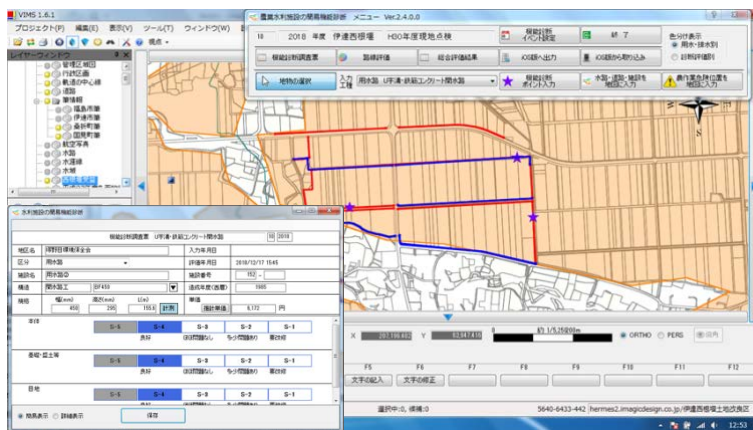


図1 PCでのVIMS入力画面((国見町 塚野目環境保全会)



図2 NN診断アプリによる
現地実証時画面(iPad 画面)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 27 年度～30 年度
- (2) 研究課題名 土地改良施設における簡易的な機能診断と保全管理技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

なし

(活用した事業名: SIP戦略的イノベーション創造プログラム)